

公民館だより

No. 84

ひがしの

2004. 9.

人口 1,802 人

(男) 884 人

(女) 918 人

世帯数 552 戸

(H16.9.1 現在)



今日は当番。
さくろく様です。

今日は不燃ごみ(燃やすことのできないゴミ)収集日

1つ1つコンテナごとに金具をはさんで整然と積み上げられている—。

各地ステーション(一時置き場)をみるとキチンと整理されているところ、また、もう一息—といったところも見られる。

自治会の環境委員又は当番がついて、ビン類は種類別(生きビン、白ビン、茶ビン、その他ビン)に分け、ペットボトルもアルミ缶も金具の位置まで入れて積み上げられているステーションは、あまり場所もとらず、清潔感が感じられます。

ゴミはステーションに出してもまだ自分のものです。—(一時置いただけ)
収集車に積まれてこそ「出した」ことになります。

万一残っていればそれなりの理由があると思われます、例えば、指定袋でなかったり、出してはならないものが入っていたり—

東雲会による「道路わきの花壇」、「地域を美しくするボランティアの会」の活動等東野における環境意識は高まっております。「地域のステーション」も考えてみましょう。

「ゴミを出すマナーがあなたのお人柄」

振興会、近況報告とお願い

振興会副会長 足立智胤

今年度の開発振興会総会、その後回覧にて会員皆様に報告いたしました「振興会機構改革」のことが話題になっております。

総会の席でも色々なご意見やご質問を頂きました。これを踏まえて、理事会で議論しましたが、難しい点もあり回覧だけではすなりと理解いただけないように思われましたので、「各自治会単位での説明会を開いて会員の皆様の理解を深めよう」ということになり、説明会を開いていただくよう自治会長さんを通じてお願いいたしました。八月末までに十自治会からの要請がありました、なかには二、三自治会合同での開催もあり、活性化担当理事を中心に順次、説明会に出ているところです。その場に出された、御意見や御質問、御要望等を重点におき、今後振興会理事会にて充分論議し合い、皆様に御理解いただけるような土台を作るように努力したいと思えます。まだ期日は未定ですが、この「機構改革」について、東野開発振興会の臨時総会を開く予定にしております。

振興会の今後の運営に直接関わる重要な議題の是非を問う総会となります。その折には、会員の皆様多数の御出席をお願いいたします。まだ時間はありますのでお聞きになりたい事等がありましたら振興会理事まで連絡いただければ返答させていただきます。会員の皆様、振興会理事ともども勉強し合い、東野として良い方向に進める結論を出そうではありませんか。

○先日行われた「納涼夏祭り」皆様のあたたかい御協力のおかげをもちまして大盛況のうちに終ることができありがとうございました。厚くお礼申し上げます。このあと、敬老会、体育祭、文化祭、市の「みのり祭り」等計画されております。皆様の御協力をいただきますようお願いいたします。

大正琴を学ぶ

西尾美和子

大正琴を習い始めて十余年、音楽が大の苦手な私でしたが、動機は教えて下さる先生が、叔父さんの奥さんに当たられる人だったので習うことに決めました、始めはまあまあこんなものかと思いつたので習うことに決めることの難しさも知りましたが、習う内には恩師（二人目の）や、友との別れの辛いこともありましたが、どうにか今日まで続けてこられたのも、仲間の皆さんのお蔭と思っております。練習の場所も、公民館が借りられ、また今年は館の改修もされ非常に使いやすくなり、ありがたく思っております。大正琴の練習は月に二回、先生の都合の良い日に行っております、先生の送迎は西尾久子さんが、野菜づくりなど忙しい方なのに引き受けてくださり一同感謝しております。

練習の時間は凡そ二時間ですが休憩時間には当番でお茶を出し合い、その時の、四方山話（よもやまばなし）も気分転換になります。

練習の帰りに私は図書室で本を借りて読むのも楽しみのひとつです。

特に古い人の本が好きで、最近では樋口一葉の「たけくらべ」、尾崎紅葉「金色夜叉」、山本有三「真実一路」など。また、今年の芥川賞作家の金原さん、綿矢さんの読みました、昔読んだ小説等は記憶にありますが、最近読んだものは良く忘れるようになり、年のせいかと思ひ少し淋しく感じます、それでもこうして仲間ができ、楽しいひとときが過せるのも「大正琴を学ぶ」という動機があったからこそ喜んでいきます。今日が終ればまた次の練習日が楽しみです。



市民講座「籐を編む」受講記

藤井雅子

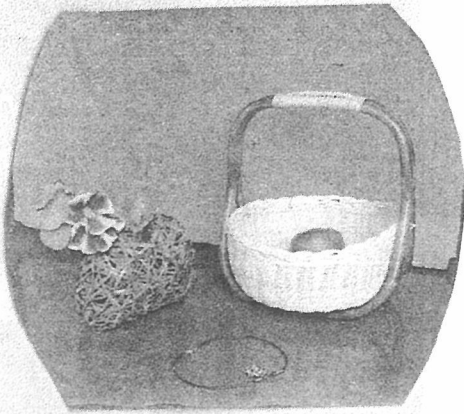
前々から「籐をやってみたい」と思っていました。が、昼間ばかりで時間が取れず諦めていましたが、今回東野公民館で夜行われるということで早速申し込みました。

一回目は竹でペンダントを編み、二回～三回目は果物籠でした。そして四～五回は花がご作り、これは皮ひもの細いものをくるくる巻いて作ります。

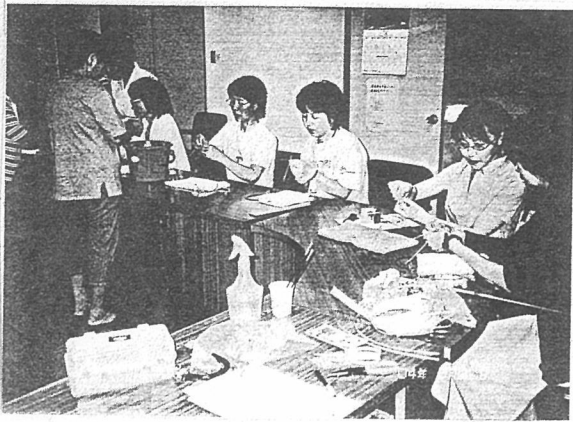
先生には一つ一つ何回も聞いて、隣の人にも教えていただき、皆さんについていくのが精一杯でしたが、どうか作品が仕上がりました。

作品は少し歪（いびつ）ですが自分で作った物となると愛着が湧いてきます、皆同じ材料で同じように作ってもそれぞれ違った作品になり、面白いものです、一生懸命で講座時間の二時間はすぐに過ぎてしまいます。

一期五回の講座も残りわずか、次回はどんな物ができるか楽しみです。



完成



「郷土料理」講座を受講して

西尾好子

毎日の食事の支度をされている主婦の方、料理は嫌いじゃないけど、毎日となると献立も限られてきて、億劫に感じる事があるませんか。私もその一人なのです。今回、郷土料理の案内を見て、友人を誘って受講しました。

月一回、一年間十回の講座なので、季節ごとの料理を教えてください。定です。今までの内容は 次のようです。

五月 たけのこ御飯、卵豆腐入り吸い物、よもぎ餅

六月 朴葉ずし、きやらぶき

七月 梅ジャム、しそ巻き

八月 天ぷら、鮭のマリネー和え、焼肉のたれ

たけのこ御飯では、筍はアク抜きしないで炊きます。アク抜きしないで食べていた私には、筍がシャキシャキしてとてもおいしく、新しい発見でした。卵豆腐は、牛乳パックを利用した型で作り、これは簡単で便利だと思いました。

土方先生の お米の研ぎ方炊き方のような基本から、健康に良い食べ物、そして先生の秘伝の技（？）等、盛りだくさんのお話に毎回感心して聞かせて頂いています。

料理を教えて頂き、講座の皆さんと楽しくおしゃべりして、試食、更に 持ち帰って家族の夕食の一品として食卓に載せる事が出来、私にとっては、一石二鳥ではなく、三鳥にも四鳥にもなる講座です。

これから秋冬と またどんな料理を教えてください。頂けるかと、毎回楽しみにしています。



地域の行事から

夏祭り

連日猛暑のなか「夏祭り実行委員会」主催による夏祭りが行われた。

午前中、振興会役員による櫓の組み立て、午後からは自治会長さんによる提灯の飾り付け、売店等の準備は完了、祭りの雰囲気もあがる。

六時から自治会長の皆さんは事前の分担により「金魚すくい」「かき氷」「ビール、ラムネ」「フランクフルト」「焼きそば」等々手際よく、ミニバザーが開店される。

参加者も六五〇名を超えたよう(抽選券投入者)。盆の季節ということもあり里帰りらしき人々の顔も見られ、東野音頭、東野小唄の踊りの輪。

今年もらつせる「風」恵那支部からの「バサラ踊り」も特別参加を願ひ威勢のいい踊り、会場から手拍子、掛け声も……。

八時、晴れた夜空に皆さんからの寄贈による打ち上げ花火が六十数発、夏祭りのフィナーレ。すっかり定着した東野の夏祭り。

会長さんをはじめ役員の皆様、東野地区の振興発展にご尽力ご苦労さまです。

さて、一昨夜行なわれた納涼夏祭りを楽しむことができました。小生は足腰が悪いため会場に向く事はできませんでした、素晴らしい打ち上げ花火を庭先で満喫することが出来ました。心からお礼申し上げます。

余分な事かも知れませんが、祭りが定着するためにも各戸三〇〇円位集めて一層盛大に継続できますよう皆様のご理解を得られるご努力お願い致します。

本当にありがとうございました。

東野を愛する一住民より

終戦記念日

8/15

今年も東雲会、郷友会合同で「終戦記念日懇談会」が行なわれた。郷友会の参加者は 名。正午を期しての黙禱に始まり、東雲会婦人部皆さんの手づくりによる「すいとん」が馳走された。

婦人部の皆さんも「子供の頃食べたことはあるがつくったことは無く……」と、美味しい水団。

戦後五十九年、直接つくった人も少なくなつた。食事の後はそれぞれの思いを胸に戦地での苦難がつい数年前のように語られる、大陸での思い出が多い。

当時、東野からは二百二十人出征(兵隊となる)して百十人戦死されたという。今では説明し難い不幸な時代の想い出である。



婦人部 準備中。

飯沼川川遊び体験

8/29

青少年育成会議が主体となり、小学校PTA、子ども会育成会など共催で「飯沼川川遊び、マス釣り体験」が行われた。

子供達は小学校美化作業を終って川へ、川では釣り専用、掴み取り専用の二つの流れに分けて三〇分ごとで交替して双方の体験ができます。……ついつい子供の竿を取ってしまう親、どちらも一生懸命。

なかにはたくさん捕まえ、掴められなかった人に分けてあげている子供も見受けられました。

ここに至るまでには打ち合わせ会、現場のチェック、漁協の許可、魚の搬入、なかでもたくさんの釣具の仕掛けは樋田教頭さんをお願いいたしました、推進員、地域の皆さんありがとうございました。

子供たちにとって楽しい夏休みの思い出となりました。



防災訓練（講習会）

東海地震など大規模災害が心配されているなか、昨年は恵那市の防災訓練が東野で行われた、今年は東野自主防災隊（隊長伊藤明）独自で計画され防災訓練が実施された

- ・ 一般家庭での家具転倒防止に努める意識
 - ・ 地域住民の防災意識の高揚
- のために自主防災隊（自治会）婦人防火クラブの皆さんを対象に訓練を行いました。

消防署の講習から——その二／三

○ 救急車の要請について
自分で行ける場合は自分で行くように

○ 地震の震度とマグニチュード

- ・ マグニチュード(M)とは
- ・ 地震の「規模」を表す指標、
- ・ 「M」は大きくても震源から遠ければ震度は小さい
- ・ 逆に「M」は小さくなくても震源に近ければ震度は大きくなる

震度とは

- ・ 地震の「場所ごとの揺れ」のこと
- ・ 震度は0から7まで十段階ある

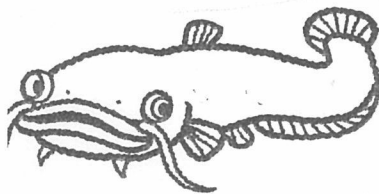
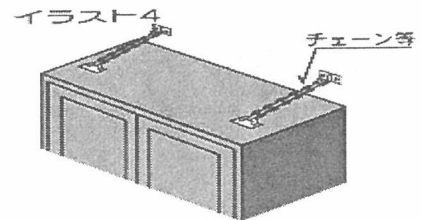
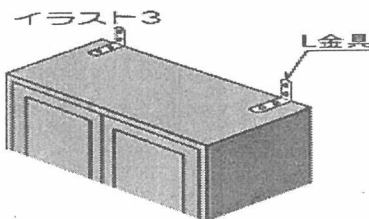
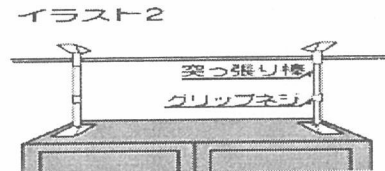
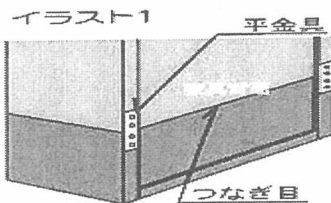
(5弱、5強、6弱、6強)

○ 家具の転倒防止対策

地震時には家の中の家具の下敷きによる死亡、負傷、又逃げ出せない等の事故が意外と多いと言われ、特にお年寄りや子供に多いという。

そのために家具の転倒防止が必要である。

家具固定例



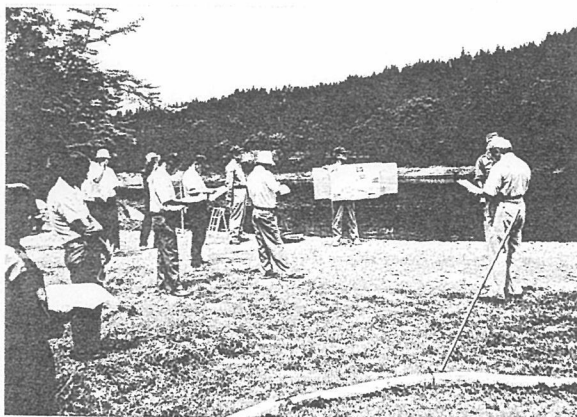
行政視察 8/6

恒例の行政視察が行われた、今年は「新生恵那市へ引き継ぐための地域の重要課題や提案」ということであった。

東野地域の要望事項としては

- 一、新市庁舎建設誘致——
- 二、東西、南北の道路の改良、新設——
- 三、小野川地区上水道の早期事業化——
- 四、白坂地区下水道着工——
- 五、その他——

- イ 教育の関係
 - ロ 環境保全
 - ハ 観光
 - ニ 高齢者パワーの活用
- 自治連会長（振興会長）から発言された



保のハ朝102 (事業説明)

彼岸道作り

9/5

東野には古くから多くの年中行事がある。その一つにこの「彼岸道作り」がある、村時代からのボランティア事業である。当時は「ボランティア」などという造語は無かったが、ごく当たり前に「自分達の使う道は自分達で」と出役し凹部には砂を埋め平らにして使い易い道路に努めたものである。又終ってからの「後祝い」も労を癒す行事であった。

今では道路面も舗装され、路線もほ場整備などかなり変更され新たな区域割によって作業が行われる事となった。主に草刈り、側溝の砂出し作業が行われているようです。

九月の「道作り」、四月の「井堰」等伝統の行事である。ご苦労様でした



作業完了

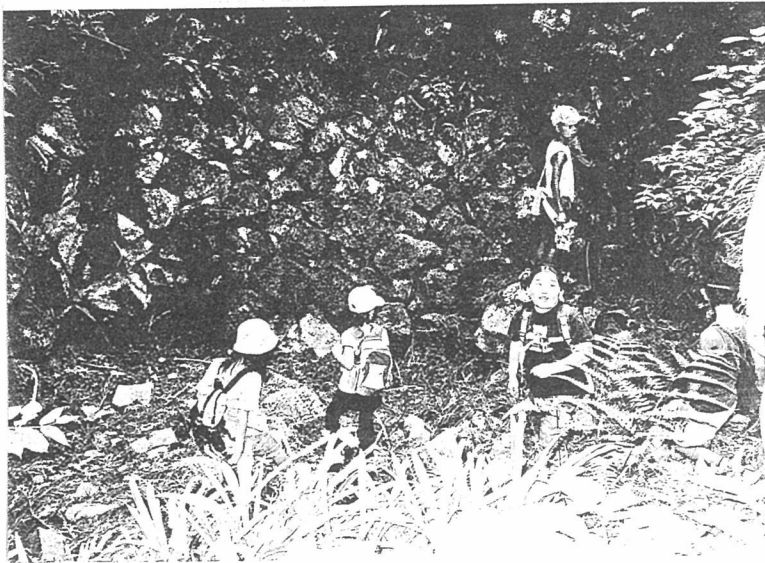
こども夏休み行事

「山本風穴探訪」「親子で木工」「保古用水を訪ねて」を企画しました。

「山本風穴」には大井町の小学生ら十数名参加、今の冷蔵庫の役割をしたこの施設が百年も前の(明治三十六年)に造られたという話にビックリ、「阿木川の氷をここに運んで……」の説明には「うそ」と、

恐る恐る室跡に降りていくと「おー寒い」冷蔵庫の役割をしたという話に少しは納得の様子。

帰り道は、葉っぱを鳴らしたり、クワガタも捕まえて大喜び。夏休みの思い出のひとつになったかな……。



「おー寒い」

敬老会

9/20

今年は敬老の日が九月二十日と定まり、例年どおり自治会女性部の協力を得て開発振興会の主催で行なわれます。

今年招待を受けられた方は昭和三年三月三十一日以前に生れられた人が対象で、男性七十二名、女性百十三名でした、尚、新しく十五名招待されます。

当日はアトラクションにさきゆり会の皆さんの舞踊、「心晴歌」でお馴染み水野辰夫先生のアカデオンのリードで懐かしのメロデーが聞かれそうです。

米寿を迎えられた方

(大正五年四月一日〜大正六年三月三十一日)

足立英明 (下辻)

篠原ち津子 (下染戸)

千藤祐夫 (南大門)

丸山益夫 (南大門)

永野すゑ (下大門)

長谷川富貴子 (下大門)

白寿(九十九才)を迎えられた方(明治三十八年四月〜同三十九年)

篠原利男 (上染戸)

(敬称略)



一、旧東野郵便局舎

旧東野村郵便局（渡辺宅）が八月に姿を消した。恵那市史などで見ると東野村郵便局は明治四十年開設——明治四十一年新局舎完成。

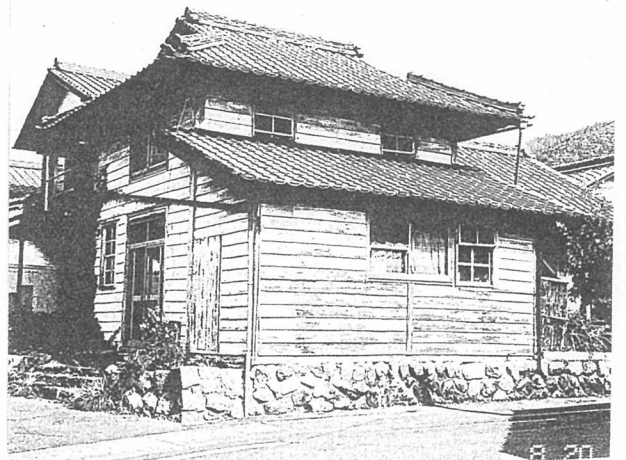
当時区域は東野村一円と阿木村飯沼一円とある。

当時 東野村二百八十戸——一五五〇人
阿木区 百四十戸——八二〇人

近隣の局では大井郵便局が明治五年、中野方局明治二十三年、東野村郵便局それ以後では阿木局明治四十四年、笠置大正五年、武並同十一年で、長島、三郷等は昭和年代の開設であり、東野村郵便局の開設がいかに早く、またそのために初代局長渡辺栄治郎氏がいかに奔走されたか想像される。

時代背景としては蚕種の郵送など小包、電報など利用も多かったと思われる。

その後、東野局では明治四十五年電報配達取扱、大正四年には電話取扱、同十一年飯沼区は阿木局に移る、東野局舎はその後屋根替え等内部の改造は行われたが外形は殆ど当時のままといわれ、ほぼ百年を経過していたこととなる。局の業務は昭和四十九年現新局舎に移り、局名も「恵那東野郵便局」となり新しいサービスに努められ現在に至っている。



明治41年築旧局舎

二、大豆づくり

女性ばかりで大豆づくりをしているグループがある、休耕田を利用した、わずか二十坪ほどの畑である、大豆づくりは珍しいことではないが、このメンバーの年齢層が四十？から七十？代らしき人たちであり、この畑からはいつも笑い声が聞こえてくる。どうも収穫は二の次のように勤めや、家事の間に誘いあつて畑でお茶を飲み、おしゃべりをしていればよい様子。年長者からは、経験から大豆づくりをとうし様々なお話を……そこには聞いてもらえる喜びと、頼りにされる喜びがあるようす。

収穫された大豆はゆで豆やら、秋にはこの大豆を使つての味噌つくりなどに挑戦されるよう、他にもこんにやくつくりなど計画のよう……成功して喜び、失敗して笑い元氣な仲間です。

三、小林一雄さん「日本伝統工芸展」入選

第五十一回日本伝統工芸展（文化庁、日本工芸会等主催）。

小林さんは「木竹工」の部で入選された。

県内では陶芸、染織、諸工芸部門を含め十八名の入選でした。

小林さんは昨年に続き二度目の入選です、入選した小林さんの作品は、栃の木のコブの部分を使った大皿です。栃コブ材は良く切れる刃物で挽かないと、コブが欠けたり、刃物の跡が残ったりするので櫛よりも細心の注意が払われます。漆塗りも、コブの一つ一つの節をていねいに塗りつぶして鏡のようになるまで何度も何度も研いで塗られるそうです、栃コブの奥深い輝く木目に魅せられて取り組まれたそうです。

作品は東京、名古屋で展示され里帰りは——何らかの機会にお披露目願えるとうろしいが！おめでとうございました



小林一雄 木の器展

七月二十三日「手づくりの楽しさを知ろう」というテーマで、東雲会婦人部の皆さんに子育て体験談と手づくりおもちゃを教えてもらいました。以前は、家の仕事が多く、なかなか自分で子育てができなかったそうですが、子どもに対する思い、子育ての大切さは現代と同じです。今はみんなで集まり、子供を遊ばせる事ができる環境。昔のお母さんは大変だったと知り、今自分たちのこうして集まる時間、子育ての時間を大切にしたいと思ったというお母さんの感想もありました。お話の後は、牛乳パックの飛行機と三種の紙飛行機を教えてもらいました。飛ぶか飛ばないかはお母さんの腕の見せ所？出来上がった後に皆で飛ばしてみました。いろいろな飛行機がありました。お母さんもお母さん東雲会の皆さんも童心に帰って楽しみました。

この日のために準備、ご協力下さった東雲会の皆さま本当にありがとうございました。

これを機に世代の違う顔見知りが増え交流の輪が広がれば良いと思います。

この様子が、岐阜テレビ「アンヨはじようず」で二月に放映される予定です。もしかすると、近所の知っている顔が映るかもしれませんね。

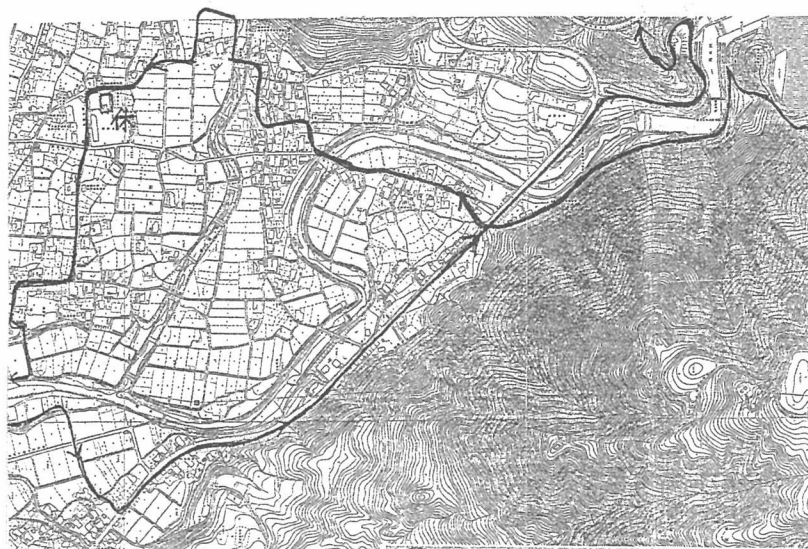


JRウォーク

今年も十一月二十八日(日)JR東海の主催「さわやかウォーク」が行われます。予定コースは恵那駅→国道257→おむこ資料館→阿木川ダム→阿弥陀堂→向島信号→松の本シクラメン→上橋戸→廣田神社→幼稚園裏(休息所予定)→染戸弘法堂→大門水位観測所→武並神社→恵那駅です。

昨年も晩秋、地域のあたたかみが好評でした。当日は、朝九時頃より午後三時頃まで多くの人が歩行されます。狭い道ですがウォークの歩行者保護に心がけ東野の自然、人情味を味わって戴きましょう。

なお、「地域を美しくするボランティアの会」の皆様にはコースの美化を、「虹の会」、「公民館協力会」の皆様にはお茶等の提供をお願いしています。



文芸

(八月の作品から)

花無山句会

深山蟬自力朝餉のパン焦がす 鈴木抱風子
深山蟬介護受ける身顧みる 々
踊唄下駄も鳴らして郡上節 市川茶山
少女らの塗り下駄弾む踊の輪 市川芳子
甲子園投打の光る夏ドラマ 伊藤靖子
雑炊に過去振り返る終戦忌 伊藤靖代
触るものみな熱おぶる大暑かな 伊藤ひろみ
小さけれど蟻螂録立て肩に乗る 西尾筍子
あいさつは一雨欲しいと早畑 西尾美恵子
蛸のたそがれを鳴き急がせる 土方ちかえ
文字摺草細き螺旋の花やさし 松本はるか
訪う人はまれな風穴草茂る 千藤恵三

サークル短歌

亡母まねて落ちしボタンを付けてみる 鈴木喜一郎
くくり三回四回と廻す
親指の爪にしろき筋光る
夏ばつさりとばつさりと切る 市川茂子
もぎたての茄子を干したり漬けたりと
冬への支度少しづつする
笹百合は湖畔の風にそよぎおり
うなづくごとく保古(ぼこ)の斜面に 赤尾袈夫
真夏日を山道づくりの青年ら
蔓草手繰り切り開き行く
夕立の去りし棚田に陽射し来て
白き槿に撮る人寄りぬ

東野体協だより

東野体育協会
発行

日ごろ、当協会では、東野住民の皆様にはスポーツ活動を通じて、住民の親睦や健康などを目的に活動しております。本年度も住民体育大会を中心に活動してまいりますので、よろしくご参加、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

これまでの行事の結果を報告します。

○第三十一回ソフトボール大会 五月二十三日(日)

優勝 3下分団・6分団合同チーム
2位 1分団・3上分団合同チーム
3位 4分団・5分団合同チーム
4位 2分団・7分団合同チーム

○第十五回インディアカ大会 六月二十六日(土)

優勝 3上分団 2位 5分団 3位 7分団
4位 2分団 5位 6分団 6位 1分団
7位 3下分団

○第七回マレットゴルフ大会 七月 六日(日)

優勝 6分団 2位 3上分団 3位 2分団
4位 5分団 5位 7分団 6位 1分団

○第四十七回恵那市市民体育大会

春季 六月二十日(日)

・陸上

三十才未満男子千五百m	2位	市川 晴久
四十才以上女子六十m	2位	土方 恭子
三十才未満男子百m	4位	篠原 直文
三十才以上男子百m	4位	伊藤 隆史
四十才以上男子百m	優勝	千藤 富久
共通四×百mリレー	4位	東野チーム
共通女子走幅跳	4位	松浦 珠実
三十才未満男子走幅跳	5位	市川 晴久
三十才以上男子走幅跳	4位	伊藤 隆史
四十才以上男子走幅跳	優勝	千藤 富久
三十才以上女子ハンドボール投	7位	小木曾 明美
四十才以上女子ハンドボール投	4位	長谷川小百合
五十才以上女子ハンドボール投	2位	土方 恭子

分団 7位 3下分団 8位 4分団
個人賞 優勝 与合和武(3下分団) 2位 土方嘉章(2分団) 3位 桐山いそ子(6分団)

夏季 八月二十二日(日)

・アーチェリー 3位
・弓道 4位
・ソフトボール 3位
・ソフトテニス 3位
・クレール射撃 6位

七月四日(日)

・軟式野球 7位
・バドミントン 4位

五十才以上男子ハンドボール投 2位 河村 久夫
三十才未満女子ハンドボール投 5位 遠藤 亜里
共通女子砲丸投 5位 長谷川小百合
四十才以上男子砲丸投 7位 西尾 富士男
三十才以上男子砲丸投 6位 遠藤 美孝
三十才未満男子砲丸投 3位 篠原 直文
共通綱引き 2位 東野チーム
陸上総合 5位

今後の体協関係行事

○第十六回レクリエーションバレーボール大会

十月九日(土)

○第二十九回住民ふれあい体育祭

十月十七日(日)

16年度後期恵那市民講座案内（東野公民館分）

番号	講座名・講師	対象 定員	講座内容	回数	曜日・時間
41	心 晴 歌 水野 辰夫	一般 無	みんなで楽しみながら歌を歌いましょう。おなかから声を出して心も体も健康に。	10	金曜日 13:30～15:30
42	Walk & Talk 健康づくり 赤尾 袈夫	一般 無	おしゃべりしながら健康づくり。一万歩にチャレンジしませんか。	10	火曜日 13:30～15:30
43	かな書道 市川 恵一	一般 20名	かな書道にふれてみませんか。基礎を学習します。	10	土曜日 19:00～21:00
44	パソコン 西尾 紀子	一般 10名	Wordを使い文書編集を学びます。マウス、キーボードの基本操作ができ、パソコンを始めてまもない方、これを機にステップアップしてみませんか。	6	水曜日 19:30～21:30
45	クラフトテープで箸作り 渡辺美千代	一般 15名	クラフトテープ（紙紐）を使って、すてきな箸や小物を作ってみませんか。	5	火曜日 19:00～21:00
46	籐を編む 太田 純子	一般 15名	籐で編むぬくもりのある箸などをあなたの手で造りませんか。	5	木曜日 19:00～21:00
47	プリザーブドフラワー 新 金森由美子	一般 20名	花の美しさを長い間楽しむことができます。プリザーブドフラワーを使ったアレンジメントを楽しんでみませんか。	5	木曜日 19:00～21:00
48	健康体操 新 鵜飼 洋子	一般 15名	腰痛、肩こり防止は正しい姿勢から。ストレッチなどで、筋を伸ばし合ったり、お仲間と健康な体づくりに挑戦してみませんか。	5	木曜日 19:00～21:00
49	日常のマナー 園原司世子	一般 15名	礼儀作法、慶弔時の一般的なマナーを学んでみませんか。	4	水曜日 19:00～21:00
50	こども書道教室 新 市川 恵一	子ども 15名	毛筆の基礎、基本を習います。心を静め、のびのびとした字を書いてみましょう。	6	日曜日 13:30～15:30

※日程等は変更になる場合があります。詳細は申し込み時に確認下さい。

詳しくは、配布されている募集案内をご覧ください。

あとがき

○ ある会議（東野ではない）でのこと「当事者だけでは少し手が足りない、なんとかボランティアをお願いできないだろうか……」、……とある出席者、やや言いにくそうに「私の知り合いの人が○○のボランティアに参加したが『ありがとう』の言葉が聞けなかった、と苦笑していた」……と……確かにグループ、年代等により、差異があるようだ。

東野でも以前（十数年）社協や青少年育成会などで「あいさつ運動」「お・あ・し・す運動」など展開されたことがあった、今でも、やや色あせたその標語の立看板を目にする。

小学校も中学校も「あいさつ」「感謝の気持ち」を教育されている、子供たちは正直である、「あいさつ」「お礼」がキチンと言える。「あいさつ」「感謝」は見返りを期待するものでもないが、あると悪くはない。色あせた立て看板の標語、再度塗り替え運動の展開を考える時であろうか。

千藤記

文化祭関連行事

◆東野歌舞伎◆

と き：10月24日（日）

10時30分開場

11時30分開演

ところ：東野小学校体育館

入場無料

◆東野ふれあい音楽祭◆

と き：11月6日（土）

13時30分開場 14時開演

ところ：東野小学校体育館

整理券200円

◆東野文化祭（展示物）◆

と き：11月6日（土）

9時～20時

11月7日（日）

9時～14時

ところ：東野公民館

作品の出品にご協力下さい。

「こんなもの出してみたい。」

公民館又は、各係りまで連絡下さい。

詳しいことは、10月1日 チラシにてお知らせします。

◇東野住民体育祭◇

と き：10月17日（日）9時～

ところ：東野小学校グラウンド

休館日（変更の場合あり）

10月 4日・12日・13日

18日・25日

11月 1日・4日・8日

15日・22日・24日

29日

12月 6日・13日・20日

24日・27日・28日

29日・30日・31日